

【第2時】数談タイム 「グループ内発表と問題づくり」

授業の視点

発表や話し合いの観点を「条件の変え方と解答の考え方」にすることは、生徒が見通しをもち、自分の問題を様々な視点から発展的に考えることに有効であったか。(検証項目2)

(1) 目標

話し合いや発表を通して、条件の変え方や解答の考え方に関心を示し、グループで協力して問題をつくることができる。

(2) 準備

グループごとにつくった問題をまとめた学習プリント ワークシート 自己評価カード

(3) 展開

ねらい(時間)	生徒の活動	支援及び留意点・評価
1 前時の学習内容を振り返り、本時に取り組む活動「数談タイム」とその内容を捉えさせる。(5分)	本時の活動内容を知る。 【数談タイム】 ・問題を解く ・グループ内で解答発表、意見交換 ・グループによる問題づくり 座席の位置から4人グループをつくる。	数談タイムの流れ、生徒の動き、教師の動きなどを確認させる。特に教師の動きとして、随時グループに入れることを告げておく。 発表の観点「条件の変え方と解答の考え方」を確認し、そこから自分の問題と友達の問題とを比較できるように伝える。
2 グループメンバーがつくった問題を解き、自分の考えをまとめさせる。(10分)	グループメンバーがつくった問題を解く。	各グループごとに問題をまとめたプリントを作成し、グループごとに配布する。 問題がうまく解けない生徒には、原題1や自分の問題などを見直させるなどして、解き方を自ら発見できるよう支援したい。
3 「条件の変え方と解答の考え方」を観点として、自分の意見が発表できるようにする。(15分)	グループ内で解答発表、意見交換をする。 ・机の形を四角形以外にしたことで、原題よりも考えにくくしてみた。 ・重ねるところを交互に変えてみた。 ・階段状に並べると重なる部分ができ、難しくなると思った。 ・いすの数を多く変えてみた。	一人一人の発表や意見交換を充実させるために、十分な時間を取るようにしたい。 作成者に対して、それぞれが自分の考えを発言する時間を設ける。 発表が観点からずれないように、必要に応じて支援をしていきたい。また、生徒たちからそうした点も発表者に直接指摘できるような環境をつくっていきたい。 意見交換が盛んに行われるように、教師は随時グループの話し合いに参加し、重要な考え方や発想を導き出していきたい。 意見交換するなかで、問題づくりのポイントを押さえさせ、グループでつくる問題に生かしていけるようにしたい。
4 グループ内の発表から得られた考え方を生かして、新しい問題をつくらせる。(10分)	発表や意見交換を基に、グループで問題づくりをする。	安易に誰かの問題を選ぶのではなく、意見交換で出た意見などを参考に、新しい問題をつくれるように支援する。 問題を難しくつくる必要はないことや解答の考え方を整理することを告げ、次の解答発表への意欲を高めたい。
5 本時の内容を振り返り、次時の発表に対する意欲を高めさせる。(5分)	本時の内容を振り返り、友達の発表や自分の問題に対する評価を行う。	本時の内容を振り返らせることにより、問題づくりや解答の方法に対する様々な考え方があることを確認させる。 次時の発表によって、また新しい考え方が加わることを示唆し、発表に対する意欲を高めたい。

【関】グループ内の発表から条件の変え方と解答の考え方に関心を示す。(学習プリント、行動観察)

【表】友達と協力して問題をつくることができる。(学習プリント、行動観察)